

# 令和5年度事業計画

公益財団法人 **神奈川芸術文化財団**

# I 第4期指定管理（令和3年度～令和7年度）における財団の運営方針

## 【財団の「理念」と3つの「視点」】

### 1 財団の「理念」

私たちは、その想像力と創造性を活用し、芸術文化の価値を高めます。

私たちは、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。

### 2 3つの「視点」（財団の「理念」に次の3つの視点を持って向きあっていきます。）

視点1「革新性」：革新的な思考や活動を通じて、新しい価値とさまざまなあり方を認め合う、豊かで柔軟な社会を目指します。

視点2「国際性」：国際的な創造発信を行ってきた「神奈川」という地域の特性を発揮します。

視点3「多様性」：基本的人権を尊重し、平和を希求する社会の実現に寄与します。

## 【財団の4つのミッション】（上記、「理念」のもとに定めた4つのミッション）

### 1 ミッション「創造に挑む」

- ・芸術文化の価値の追求
- ・多様な価値観や美意識、表現の自由に基づく作品の創造
- ・古典作品の再発見と伝統の継承
- ・劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）（以下「劇場法」という。）が示す公共劇場のモデルを体現

### 2 ミッション「感動を分かち合う」

- ・自宅でも職場・学校でもない、人びとに開かれた「第3の場所」としての文化施設の実現
- ・豊かな芸術体験の提供、多様な芸術文化の紹介
- ・広域ネットワークの構築
- ・神奈川県内の地域文化の活性化と偏在の解消
- ・文化施設の維持・運営を通し、あらゆる人々の鑑賞や創造活動を支援

### 3 ミッション「つねに考える」

- ・新たな行動に結びつく公正で適正な評価と組織整備
- ・社会と芸術、時代の多面的な検証
- ・芸術文化の公共性や可能性の考察
- ・文化施設の公共性や可能性の考察

### 4 ミッション「未来につなぐ」

- ・芸術文化の担い手の育成
- ・次世代への継承
- ・創造性やコミュニケーション力を養う教育の拠点

## 【第4期指定管理における重点テーマと主な取組】

- 1 「各館のブランディングの強化と3館一体の推進」  
各館それぞれの個性・特性をより強く打ち出した企画立案  
事業部長（音楽事業部長・演劇事業部長）の設置  
総合調整会議を設置（施設運営における水準の平準化と更なる向上）
- 2 「あらゆる人々へ開かれた場」  
「社会連携ポータル」部門（※）を令和3年度に立ち上げ  
利用者サービスのユニバーサルデザイン化の推進や、障がい者の鑑賞サポートの充実
- 3 「地域との連携」の強化～「繋<sup>つな</sup>がりの実現」  
「社会連携ポータル」部門（※）を令和3年度に立ち上げ  
県内巡回オペラの実施や、バックステージツアーの充実
- 4 「今後予測される厳しい財政環境への対応」  
専門性の高い職員を3館に共通する部門に配するなどの効率的な人員配置  
長期貸館の誘致などによる、利用料収入の確保

### ※ 「社会連携ポータル」部門とは

これまで、各館でそれぞれに取り組んできた

- ① 専門人材育成プログラム
- ② 学校教育へのアプローチ（エデュケーションアプローチ）
- ③ あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ
- ④ 地域との連携を強化する機能（県域ネットワークプログラム）

について、これまで培った知識や経験といった機能を「社会連携ポータル」部門に集約することで、その機能をより強化し、3館にとっても、また県域の文化施設や他の団体からも、社会と芸術をつなげる窓口＝ポータルとなるよう機能させていく。

また、社会連携ポータル部門では、様々な障がいのある方々、県内の在住外国人、貧困や社会的養育のもとにある子ども、高齢者（シニア）を重点的に取り組むべき対象とする。

## 【第4期指定管理における3館の役割と方向性】

### 1 神奈川県民ホール

#### ○担うべき役割

- ・神奈川県民ホール（以下「県民ホール」という。）の県内最大規模のキャパシティと多目的ホールの特性や良好な立地条件を生かしながら、主催・共催事業や貸館事業を通じて、県民の方々の多様なニーズに応え、多彩で良質な芸術鑑賞の機会を提供すること。
- ・大ホール、小ホール、ギャラリー、会議室などを最適な環境で提供し、県民の方々の文化芸術活動の活性化に貢献すること。
- ・開館後45年を経過した老朽化の進行に適切に対応することで、今後も安全で安心感のある、良好な施設環境を維持し、県民の方々に提供していくこと。

#### ○取組の方向性

- ・主催・共催事業のバラエティと質の維持・向上を図りつつ、貸館事業との適切なバランスを確保し、高い利用率を維持する。
- ・近隣地域の劇場整備の進捗による利用需要の変化に柔軟に対応していく。
- ・ロビーや正面広場等を活用したにぎわいを創り出す。

### 2 KAAT 神奈川芸術劇場

#### ○担うべき役割

- ・KAAT 神奈川芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）に対する県民の方々の多様な鑑賞ニーズに応え、かつ高度な舞台創造機能やリソース（人材、ノウハウなど）を生かしたラインナップの実現と、将来の舞台芸術を担う専門人材を育成していくこと。
- ・中・長期間公演による大きな収入を財源とした大規模な創作や上演を実現していくこと。
- ・劇場法に則った創造型劇場としての運営や、地域の拠点劇場のモデルを体現する先進事例への取組を続けていくこと。

#### ○取組の方向性

- ・収入の維持・向上のために、安定的なロングラン貸館の利用を確保していく。
- ・舞台技術に関する創造活動及び安全管理のノウハウを、3館全体に展開し共有する。
- ・NHK 横浜放送局とも連携し、アトリウムににぎわいを創り出すとともに、劇場施設自体の魅力を発信する取組を開始する。
- ・実演家・クリエイター・スタッフ等の創造性を養い、その成果を事業実施や企画立案に反映させる業務環境を作る。

### 3 神奈川県立音楽堂

#### ○担うべき役割

- ・神奈川県立音楽堂（以下「音楽堂」という。）の音楽ホールとしての歴史性を継承する、独自性の高い演奏会を実施すること。
- ・優れた音響特性や建物の魅力を生かすジャンルの選定（クラシック音楽の中でも室内楽や室内オペラなど。またモダニズム建築を生かせるパフォーマンスや現代的な演目など）。
- ・県民の方々が自ら行う文化活動のために、利用したくなる魅力を持つ「音楽ホール」であり続けること。

○取組の方向性

- ・音楽堂としての個性を大切にしながら音楽事業を展開する。
- ・文化財的価値のある建築であり、同時に現役の音楽ホールとして稼働中の施設を保全していくノウハウを確立する。
- ・これまでと同様の高い利用率を維持しながら、施設の老朽化に適切に対応していく。
- ・主催・共催事業のバラエティと質の維持・向上を図りつつ、貸館事業との適切なバランスを確保する。



県民ホール



芸術劇場



音楽堂

※次頁以降の凡例（**公1**、**収1**、**収2**、及び**法人**）は、公益認定及び会計上の分類を示す。

◆公益目的事業

**公1** 芸術文化事業及びそのための施設運営に関する事業、芸術文化の情報収集提供、調査研究及び人材育成

◆収益事業

**収1** 駐車場の運営に関する事業

**収2** 大会、集会、会議等芸術文化以外の施設運営に関する事業

◆法人会計

**法人** 法人の運営に関すること

## II 令和5年度における財団の運営方針

財団は、先に掲げた理念を実現するため、4つのミッションを柱とした芸術文化事業及び施設運営・利用者サービスを展開し、多くの県民に上質で多彩な芸術文化プログラムを提供することによって、広く県域において創造性や活力が育まれることを目指していく。また、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び県の同「神奈川県対処方針」を踏まえ、感染症拡大防止に適切な対策を施しながら、県民が安心して芸術文化を享受できる環境を整え、ウィズ・コロナ、アフター・コロナ時代においても芸術文化の振興と創造・発信の役割を果たしていく。

### 1 芸術文化事業 公1

#### (1) 県民ホール

神奈川県民ホールは、昭和50年の開館当初から有数の大型文化施設・多目的ホールとして神奈川県民の芸術文化振興を担ってきた。第4期指定管理期間でもその実績と使命を継承し、さらに財団の理念とミッションの方向性と軌を一にし、一柳慧芸術総監督と沼野雄司芸術参与の方針のもと、上質でバラエティ豊かな事業を展開していく。

具体的には、令和7年1月に迎える開館50周年に向けて、令和5年度と令和6年度の2年がかりで新しい総合芸術表現を追求・創作するオペラ作品の新制作に取り組むほか、大ホール2,400席の大空間と舞台機構を生かした舞踊やオーケストラ公演の実施、企画性の高い公演による小ホールの活性化、オルガン・アドバイザーの監修のもと実施する多彩なオルガン・コンサート、現代美術の企画展や県民参加の美術展によるギャラリーの活用、県域でのアウトリーチ型公演の実施などを通じて、県民ホールの価値を高める事業を行う。事業実施においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対応するため、観客・出演者等の安全・安心を確保するとともに、コロナ後の芸術文化のあり方を考えていく。

#### ■ミッション「創造に挑む」 [3事業]

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
調整中	小ホール又は会議室	新制作オペラ・プロジェクト シャリーノ作曲：オペラ「ローエン格林」 準備企画	開館50周年(令和7年度)に向け、令和5年度と令和6年度の2年がかりでシャリーノ作曲オペラ「ローエン格林」の新制作上演を実施する。1年目は、翌年度への諸準備を行うと共に、聴衆が本公演への理解を深め、期待を高めるための企画や、創作のプロセスを紹介するワークインプログレス等を開催し、翌年度への助走とする。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和6年 1月13日(土)	小ホール	「C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅」	小ホール事業の共通テーマ「C×」(シー・バイ)を体現するメイン企画。「C」は Composer、Classic、Contemporaryを意味する。「C×C(シー・バイ・シー)」では、過去の著名な作曲家と現代の作曲家を引き合わせ、歴史的遺産を顧みつつ、未来へとつながる創造を模索する室内楽シリーズを開催する。 テーマ作曲家：ラフマニノフ(生誕150年・没後80年)、ベリオ(没後20年)等を予定
令和5年 12月16日(土)～ 令和6年 1月27日(土)	ギャラリー	企画展「味／処」	県民ホールギャラリーの独特な空間を活かし、同時代の美術を紹介する企画展。「場」と「味」をコンセプトとしたグループ展を開催する。

### ■ミッション「感動を分かち合う」[6事業]

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
<b>C×オルガン オルガン・コンサート・シリーズ</b>			
令和5年 4月21日(金) 6月30日(金) 10月27日(金) 令和6年 1月26日(金) 3月8日(金)	小ホール	プロムナード・コンサート	小ホール事業の共通テーマ「C×」に沿って、オルガン・アドバイザーの中田恵子のもと企画される「C×オルガン」シリーズ。 オルガン音楽の普及を図る「プロムナード・コンサート」、古典から現代までオルガン音楽の魅力を追求める「リサイタル」、年末の風物詩的演奏会「クリスマス」の3ジャンルに加え、オルガン・アドバイザーが他ジャンルのアーティストと共演しオルガンの新たな魅力を紹介する「オルガン avec シリーズ」を実施する。なお、3月のプロムナード・コンサートは、社会連携ポータル部門と協働し、インクルーシブの視点を取り入れた内容とする。
令和5年 9月8日(金)		オルガン・リサイタル	
12月16日(土)		クリスマス・コンサート	
令和6年 2月10日(土)		オルガン avec シリーズ	

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和5年 8月19日(土)	複数施設	オープンシアター2023	<p>大ホールでの公演を中心に、音楽・舞踊・美術ほか様々な企画をホール内各所で同時開催。県民ホール全体での取組とするほか、社会連携ポータル部門と協働し、関係団体等と連携し、障がい者・多言語対応にも取組み、幅広く地域の人々にホールや芸術に親しんでもらうことを目指す。</p> <p>大ホール：バレエ「くるみ割り人形」の原作小説を基にした新作ダンス劇「マリーの夢」</p> <p>小ホール：オルガン・コンサート等を予定</p>
12月29日(金)	大ホール	ファンタスティック・ガラコンサート 2023	オペラ、バレエ、オーケストラの名曲、名シーンで構成。祝祭感溢れるステージを展開する年末恒例のガラコンサートを行う。
令和6年 3月23日(土)	小ホール	C×バロック 「大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol. 3」	バロック音楽の第一人者である大塚直哉(チェンバロ)によるコンサート・シリーズ。バロック音楽の魅力を様々な角度から紹介する。
令和5年 ①5月27日(土) 28日(日) 令和6年 ②2月3日(土)	大ホール	音楽舞踊総合公演	<p>プロフェッショナル団体による音楽・舞踊などの公演を実施し、県民に上質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。</p> <p>①カナダのダンスカンパニー Kidd Pivot (キッド・ピボット) によるコンテンポラリーダンス公演</p> <p>②スターダンサーズ・バレエ団によるリラックスパフォーマンス</p>
調整中	調整中	県域巡回事業	<p>県域の芸術文化振興を目的として、音楽・舞踊などの親子向け企画を、地域の文化施設等と連携して実施する。</p> <p>予定演目：みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」(寒川・鎌倉の2か所で調整中) 等</p>

【共催事業】[1事業]

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
年3回	大ホール	神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏会	定期演奏会などを共催で実施。
通年	大ホール 他	共催公演・展覧会 (松山バレエ団、モダン&バレエ、日本バレエ協会ほか)	優れたオペラ公演、クラシック音楽、舞踊、現代美術展等を共催公演として招へいし県民に鑑賞機会を提供するほか、県民の自主的な芸術活動を支援する発表の場を提供する。

■ミッション「つねに考える」[1事業]

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和5年 ①9月23日(土祝) ②調整中	①小ホール ②小ホール 又は会議室	舞台芸術講座 ①青島広志の名曲レクチャーコンサート ②新制作オペラ・プロジェクト シャリーノ作曲：オペラ「ローエン格林」 準備企画 ＜社会連携ポータル事業＞	舞台芸術への扉を開く講座シリーズ。社会連携ポータル部門と協働し、広い観点から音楽芸術等への理解と共感を深める企画を実施する。 ①名曲レクチャーコンサート 講師：青島広志 ②新制作オペラ・プロジェクトの準備企画（再掲）
令和6年 1月13日(土)	小ホール	「C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅」	(再掲)

■ミッション「未来につなぐ」[3事業]

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和5年 6月～10月	ギャラリー	第58回 神奈川県美術展	昭和40年の創設以来、新人作家の育成と美術文化の向上に努めてきた、国内有数の規模を誇る美術公募展を、県及び財団が参画する実行委員会が主催して開催する。共催。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和5年 8月6日(日)	大ホール	横浜バレエフェスティバル 2023	世界で活躍する日本人ダンサーを招へいし、クラシックからコンテンポラリーまで幅広いプログラムを上演する。共催。
調整中	未定	県民ホール人材育成事業 <社会連携ポータル事業>	<p>社会連携ポータル部門と協働し、県内の文化施設職員等を対象にした劇場運営マネジメント講座、インターンシッププログラムを実施する。</p> <p>インターンシッププログラムは、事業制作に加え、施設運営もとり入れた公立文化施設であることをいかした内容とする。</p> <p>その他、大学と連携した人材育成プログラム等も実施する。</p>

## (2) 芸術劇場

芸術監督・長塚圭史のもと、年間を通じたプログラムや劇場広報を通じて、高い芸術性を担保しながら、専門人材、劇場設備・機構、劇場間ネットワーク等のリソースを活用し、それらを積極的に育成・展開・活用する企画を立て、安定した事業運営を目指す。

前年度に引き続き、劇場・財団のミッションを踏まえた多様なプログラムを提供する枠組みとして、4月～8月を「プレシーズン」、9月～3月を「メインシーズン」として2つに分け、活動にリズム感を持たせ、より県民に親しまれる劇場を目指す。

4月～8月の「プレシーズン」は、ひらかれた劇場として県民の方々をつながることを目指し、舞台に触れることの少ない方々に、劇場の存在を知っていただき、また観客となる体験を提供することを主眼として企画していく。

9月～3月の「メインシーズン」には、毎年度テーマを掲げ、時代や劇場の動性を表現しながら、芸術監督演出作品をはじめ、そのテーマから想起される多彩な作品をプログラムする。

令和5年度は、『貌～かたち～』をシーズンタイトルとして、多様な価値観、美意識、そして舞台芸術の喜びを県民に提供していく。

---

### 『貌～かたち～』

それぞれ「かたち」を持ちます。目に見える「かたち」、触れて確かめる「かたち」、聞こえてくる「かたち」もあるかもしれません。そしてその「かたち」に強く心を惹かれ、愛を抱くこと、あるいは不快感や恐怖を覚えたり、仲間意識を抱くこともあるかもしれません。でもそれはあくまでも「かたち」に過ぎません。けれど抗い難く「かたち」に囚われるのが人間です。我々の本能を強く刺激する「かたち」にどう向き合うのか。

美しさの価値はそれぞれ違います。けれど多くの人が美しいと声を揃えるものもあるのも事実です。このような価値観はどこから生まれてくるのでしょうか。そして広い視野に立てば大差のない「かたち」が、争いを生むほどに違って映ることもあるのです。逆に「かたち」はほとんど同じなのに、思想やイデオロギーという見えないものによって熾烈な争いを生むこともあります。「かたち」と思想はどちらが先立つのでしょうか。

あくまでも「かたち」に過ぎないのに、けれど抗い難く「かたち」に囚われるのが人間です。本能を強く刺激する「かたち」に我々はどう向き合うのか。そもそも我々は純粋に「かたち」を捉えることが出来るのでしょうか。

プレシーズン-----

5月	中スタジオ	「虹む街の果て」作・演出：タニノクロウ
6-7月	大スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2023 「さかさまの世界」振付・演出：伊藤郁女
7月	大スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2023 「さいごの1つ前」作・演出：松井周
8月	大スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2023 「くるみ割り人形外伝」作・演出：根本宗子

メインシーズン-----

9-10月	中スタジオ アトリウム	KAAT EXHIBITION 2023 「浅田政志展   Yokohama Photograph -わたし/わたしたちのいま-」
9-10月	大スタジオ	「アメリカの時計」作：アーサー・ミラー、演出：長塚圭史
11月	ホール	「新作」作：倉持裕、演出：杉原邦生
11-12月	大スタジオ	KAAT×東京デスロック×第12言語演劇スタジオ 「外地の三人姉妹」作：ソン・ギウン、演出：多田淳之介
12月	ホール	「ジャズ大名」原作：筒井康隆、台本・演出：福原充則
12月	複数施設	YPAM2023-横浜国際舞台芸術ミーティング
2月	中スタジオ	KAAT カナガワツアープロジェクト 2023 「三浦半島の人魚姫」「箱根山の美女と野獣」 作・演出：長塚圭史
2-3月	大スタジオ	「スプーンフェイス・スタインバーグ」 作：リー・ホール 演出：小山ゆうな

■ミッション「創造に挑む」[5事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
令和5年 9月3日(日) ~10月1日(日)	中スタジオ アトリウム	KAAT EXHIBITION 2023 「浅田政志 展   Yokohama Photograph-わた し/わたしたちの いま-」	(メインシーズン) 平成28年から毎年開催している劇場空間 と現代美術の融合による新しい表現を生み出 す展覧会 KAAT EXHIBITION。令和5年度は、 自らの家族を題材とした写真集『浅田家』で 木村伊兵衛写真賞を受賞、日本各地を取材し てその土地の人々のエピソードを写真に写し てきた浅田政志による写真展を開催する。神 奈川県に暮らす人々の貌(かたち/かお、す がた)を映す新作写真が、見る者の記憶を揺 さぶる。県民から被写体の公募をおこなう。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和5年 9月中旬 ～10月上旬	大スタジオ	「アメリカの時計」	(メインシーズン) アメリカの劇作家アーサー・ミラーが昭和55年に発表した戯曲。昭和4年の世界恐慌とその時代を生きたある家族をめぐる物語である。国の「かたち」、社会の「かたち」を描く壮大な物語でありながら、同時に未曾有の貧困と価値観の転覆を前に戸惑いながらも生きる人々を描くこのドラマを、長塚芸術監督の演出により、大スタジオという親密な空間をシンプルに使用して、選りすぐりの俳優十数名と共に創り上げる。
11月中旬～下旬	ホール	「新作」	(メインシーズン) 倉持裕が書下ろす新作戯曲を杉原邦生が演出、注目の二人による初タッグ。独自の視点と巧みな台詞で、他にはない不思議な世界を描き、舞台のみならずドラマや映画で活躍する倉持裕。瑞々しくかつダイナミックな演出力で、小劇場から歌舞伎まで活躍の場を広げる演出家、杉原邦生。いくつもの顔を持ち、いくつもの人生を生きる人々を巡る奇想天外な物語を創作する。
12月上旬～下旬	ホール	「ジャズ大名」	(メインシーズン) 小説家・筒井康隆の傑作小説「ジャズ大名」の舞台化。アメリカの黒人奴隷が幕末の小藩に漂着し、彼らが奏でるジャズに夢中になった藩主がジャム・セッションをくりひろげているうちに、気が付くと明治の世になっていた・・・荒唐無稽な原作に、舞台のみならず映像の世界でも注目を集める劇作家・演出家の福原充則が、舞台を原作から小田原藩の支藩・荻野山中藩に置き換え、神奈川ならではのアレンジを施しつつ、その高い空間演出力で筒井ワールドを存分に表現する。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和6年 2月下旬 ～3月上旬	大スタジオ	「スプーンフェイス・スタインバーグ」	(メインシーズン) 癌に犯され、死んでゆく7歳の少女スプーンフェイスが、マリア・カラスの歌うオペラのアリアとともに「死んでゆく自分」について考え、その死と向かいあってゆく異色のモノロールドラマ。令和3年度「ラビット・ホール」で、息子の死に向かい合う母親の心の動きを繊細に表現した演出家小山ゆうなが、演出を手掛ける。 翌年度以降、劇場のレパトリーとして継続的に上演をおこなえる作品となることを目指す。

#### ■ミッション「感動を分かち合う」 [6事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
令和5年 6月下旬 ～7月上旬	大スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2023 「さかさまの世界」	(プレシーズン) フランスを拠点に活躍する、ダンサー・振付家の伊藤郁女による子ども向けのダンス作品。 自作の紙芝居を通じて子どもたちの想像力を取材するリサーチ活動をおこない、その活動で収集した子どもたちの様々な“秘密話”を素材に創作する。同様のコンセプトで令和3年10月にフランスで初演された作品を元に、日本人ダンサー・俳優と日本版「さかさまの世界」を新たに創作する。出演者と共に神奈川県内の子ども達にもリサーチ活動を行い、そこで集めた秘密の数々を作品に織り込んでいく。
7月下旬	大スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2023 「さいごの1つ前」	(プレシーズン) おとなも子どもも楽しめるKAATキッズ・プログラムの演目として令和4年に初演した演劇作品をブラッシュアップし再演する。 作・演出に劇作家・演出家・俳優の松井周、主演に日本を代表する俳優・白石加代子を迎え、白石扮する主人公が天国と地獄の分かれ道で「生きていた頃の記憶」を探す物語を上演する。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和5年 8月上旬～中旬	大スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2023 「くるみ割り人形 外伝」	(プレシーズン) 劇作家・演出家として活躍目覚ましい根本宗子を作・演出に迎えた KAAT キッズ・プログラムの新作。バレエの名作『くるみ割り人形』をベースに女の子の一夜の冒険をオリジナルストーリーで書き下ろす。 人気デュオのチャラン・ポ・ランタンを音楽・演奏に迎え、お芝居にバレエ／踊り・歌／音楽を織り交ぜ、俳優・踊り手・歌い手・ミュージシャンのカンパニーが、舞台の楽しさをフルコースで届けるミニマムで贅沢な音楽劇。
<KAAT 公演> 令和6年 2月上旬～中旬  <ツアー予定> 令和6年 2月中旬～下旬	中スタジオ 他	KAAT カナガワツアープロジェクト 2023 「三浦半島の人魚姫」 「箱根山の美女と野獣」	(メインシーズン) KAAT 芸術監督・長塚圭史がくひらかれた劇場>を目指し、より多くの県民に向けて、KAAT で創作した作品を携え神奈川県内各地を巡演するプロジェクト。第2弾となる今回は、世界中で親しまれている「人魚姫」「美女と野獣」の物語を元に、舞台を神奈川県に移し、神奈川県各地域の伝説やエピソードを盛り込んで書き下ろすオリジナル作品を二本立てで上演する。
通年	アトリウム 他	フレンドシッププログラム  <社会連携ポータル事業>	年間を通じて、街の一部である劇場、街に飛び出す劇場、またあらゆる人々に開かれた劇場を目指し、演劇・音楽・ダンス・現代美術・トークイベントなど多様な催しを、アトリウムを活用し開催する。また、劇場を身近に感じていただき、劇場の魅力を知っていただくために、定期的にバックステージツアーを開催する。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
通年	複数施設	提携事業	<p>KAAT の劇場イメージを向上させる上質な演目や、集客力で地域の賑わいを創り出す演目を、提携公演として誘致し、主催公演とあわせて KAAT 全体の公演ラインナップを充実させる。</p> <p>4月 県演連、仕立て屋のサーカス  5月 ロロ、木ノ下歌舞伎「摂州合邦辻」  6月 OrganWorks、  7月 範宙遊泳  8月 県演連  11月 黒田育代再演譚 vol. 3  1月 天使館、地点、Noism Company Niigata  2月 K-BALLET Opto vol. 3</p>

#### ■ミッション「つねに考える」[2事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
令和5年 12月上旬～中旬	大スタジオ 他	「YPAM2023-横浜 国際舞台芸術ミー ティング」	<p>(メインシーズン)</p> <p>国内唯一かつアジアで最も影響力のある舞台芸術プラットフォームとして国際的に認知されてきた「TPAM-国際舞台芸術ミーティング in 横浜」が令和3年から「YPAM-横浜国際舞台芸術ミーティング」として再出発。国際的芸術交流の深化、発展とともに、地域との結びつきを深めていくことを目指している。KAAT は令和5年度も公演プログラムの主会場として劇場各施設を最大限に活用し、多様な作品の上演を行う。</p>
通年	複数施設	「カイハツ」	<p>必ずしも上演を目的とせずに様々な創作の可能性を探る場を、演出家・振付家・俳優・ダンサーたちに提供する。数多くのアーティストが出入りし、劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指す。</p> <p>また、国内外の戯曲の発掘、情報収集も継続的に行い、今後の企画立案に繋げていく作品のディベロップメント事業としても位置づける。</p>

■ミッション「未来につなぐ」[5事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
<p>令和5年 5月13日(土) ～5月21日(日)</p>	<p>中スタジオ</p>	<p>「虹む街の果て」</p>	<p>(プレシーズン) 令和3年6月に上演した「虹む街」。横浜・野毛の飲食店街を彷彿とさせる空間の中で、さまざまな人生や思いが交錯する街の風景を描いた寡黙劇は、斬新な演出で話題を呼んだ。今回は、その街の未来を描く。演劇界の鬼才、タニノクロウが創造する未来は、果たしてどのような世界なのか。 過去の作品を劇場の財産として、より多くの県民に鑑賞機会を提供出来るようリクリエーションしていく取り組みであり、また初演同様、神奈川県在住、勤務の方々、多様な国籍の方の創作への参加を目論む。</p>
<p>11月下旬 ～12月上旬</p>	<p>大スタジオ</p>	<p>「外地の三人姉妹」</p>	<p>(メインシーズン) 韓国の劇作家・演出家、ソン・ギウンがチェーホフの「三人姉妹」を、1930年代日本統治下の朝鮮を舞台に翻案し、東京デスロックの演出家多田淳之介の演出により、令和2年12月に初演された作品を再演する。三姉妹の日本への望郷や戦争へ向かう帝国軍人達の描く未来像、朝鮮人たちの思いが交錯する舞台は、話題を呼んだ。偏らない目線と表現を追求し日韓クリエーションを重ねてきた多田とソン・ギウン。本作によってアジアにおける日本が浮き彫りとなり、改めて日韓の歴史を見つめるきっかけともなるだろう。 過去の作品を劇場の財産として、より多くの県民に鑑賞機会を提供出来るようリクリエーションしていく取り組みであり、また YPAM と関連する日程で上演し、YPAM における演劇の持つ力、批評性の表出に貢献することも目指す。</p>

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
<b>KAAT 人材育成事業</b>			
年 2 回	調整中	インターンシップ ＜社会連携ポータル 事業＞	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営、または舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供する。劇場運営と技術の 2 コースで開催する。
年 2 回予定	調整中	舞台技術講座 ＜社会連携ポータル 事業＞	プロフェッショナルとして活動している舞台技術者が、専門分野を超えて視野を広げ、スキルアップする講座を実施する。
通年	調整中	リラクスパフォーマンスを考える ＜社会連携ポータル 事業＞	令和 5 年度から 3 年計画でリラクスパフォーマンス（またはインクルーシブシアターともいう）の作品制作を目標とし、その一年目として、研究、アーティストと協働するための準備を行う場を設け、創作のあり方を検討する。
通年	調整中	KAAT 教育普及事業 教育機関連携 ＜社会連携ポータル 事業＞	大学及び県立高校の専門科との連携事業を重点に行う。 大学連携は、大学や研究者と連携し、文化施設の新しいあり方、芸術文化を将来へつなぐ研究を協働、または提言していくための講座を開催する。 高校との連携は、県立神奈川総合高等学校舞台芸術科の教育課程に合わせた講座を開催する。
通年	複数施設	「カイハツ」	(再掲)

### (3) 音楽堂

音楽堂のプレゼンスを高める事業を継続して実施する。上質性、先進性、国際性とオリジナリティにあふれたクラシック音楽を主としたレギュラーラインナップを主共催連動して展開し、若い世代や地域に向け、新しいジャンルの音楽や他ジャンルの芸術との協働も含めた発信を行い、一流室内楽ホールとしてのブランドイメージを構築する。

フラグシップとなる「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」では、毎回大好評を得ている鈴木優人プロデュース・指揮、バッハ・コレギウム・ジャパンによるバロックオペラプロジェクト、もう一つのフラグシップ「音楽堂ヘリテージ・コンサート」では、令和4年度「音楽堂室内オペラ・プロジェクト「シッラ」」のキーアーティスト、ファビオ・ビオンディによる無伴奏リサイタル等の質の高いプログラムによる主催公演のほか、発信力のある共催事業を積極的に誘致し、音楽堂の音響と歴史性を活かした世界レベルの音楽体験を提供する。

「子どもと大人の音楽堂」では0歳児から入場可とし、多言語・多文化家庭の子どもを中心に多様な参加者に対して館を開く＜子ども編＞、音楽堂になじみのない層も含め若い感性で音楽堂全体を楽しむ＜大人編＞を開催。新しい客層や次世代への普及に努める。

従来の表現・思考のスタイルにとらわれない新しい表現を紹介するシリーズ「新しい視点」では公募プログラムとリコmendプログラムの2本建てで実施する。

その他、幅広い年齢層の県民合唱参加による「メサイア」全曲演奏会、「音楽堂アウトリーチ」、「音楽堂人材育成事業」、近隣施設と提携した「紅葉ヶ丘まいらん」等の取り組みで、次世代の人材育成や、地域に開かれ音楽文化の振興をはかる公共ホールとしての役割を追求する。

#### ■ミッション「創造に挑む」[2事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
<b>音楽堂室内オペラ・プロジェクト</b>			
令和5年 10月14日(土)	音楽堂	鈴木優人指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン ヘンデル「ジュリオ・チェーザレ」新演出版 (イタリア語上演日本語字幕付き)	優れた室内楽ホールとしての音響特性とブランドイメージを打ち出すフラグシップ企画としてバロックから現代まで様々な作品を紹介するシリーズ。 バロック音楽専門の日本の演奏団体として世界的に高く評価されるバッハ・コレギウム・ジャパンを、創立者、鈴木雅明から継承していく次世代のリーダー、鈴木優人がプロデュースする、平成29年「ポッペアの戴冠」、令和2年「リナルド」と継続する、好評のシリーズの新制作となる。 出演：森麻季(ソプラノ)ほか

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
<b>「新しい視点」シリーズ</b>			
①令和5年 7月1日(土) ②令和5年 11月公募締切 令和6年 3月23日(土)ワ ークインプログレス	音楽堂	<公募プログラム> 紅葉坂プロジェクト	①令和4年度に公募し、沼野芸術参与を委員長代行とする審査会で採択した団体2組によるコンサート(Vol. 2)の実施(1回) ②令和6年度にコンサート(Vol. 3)を行う団体2組以上の公募・審査・採択・ワークインプログレスの実施(1回)
令和5年 9月20日(水)		<音楽堂リコメンドプログラム> 庄司紗矢香／モディリアーニ・カルテット ／ベンジャミン・グローヴナー(ピアノ)／俳優3名	令和4年度からスタートした、音楽表現の新しい切り口やレパートリーへの新鮮な視点を拓く試みを続け、実績のあるアーティストを紹介する公演。世界レベルの活躍を続けるヴァイオリニスト、庄司紗矢香とモディリアーニ・カルテット(弦楽四重奏)、ゲストプレイヤーとしてピアニストと俳優を加え、テキスト・演出:平田オリザにより、ショーソンの「ヴァイオリン、ピアノ、弦楽四重奏のための協奏曲」をメインで演奏する。庄司とモディリアーニ・カルテットの構成する他の曲と併せて室内楽の新しい演劇的世界をみせる。

### ■ミッション「感動を分かち合う」[2事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
<b>音楽堂ヘリテージ・コンサート</b> ※下記共催と合わせてセット券を発売するなど、シリーズ展開する ※コロナ禍等により招へいが難しい場合は日本人の優れた演奏家による代替企画等も検討する ※適宜関連企画としてプレレクチャー「街なかトークカフェ」を開催する			
令和6年 1月19日(金)	音楽堂	イアン・ボストリッジ テノール・リサイタル	オペラのみならず古楽からロマン派歌曲、近代のレパートリーまで優れた表現力でカリスマ性を放つテノール歌手が音楽堂初登場。プログラムはシューベルトの歌曲「白鳥の歌」を中心に、音楽堂ならではの選曲を調整する。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和6年 2月17日(土)		ファビオ・ビオンディ バッハ「無伴奏ヴァイ オリンのためのソナタ とパルティータ」全曲 演奏	「シッラ」の音楽監督であり、カリスマ的ヴァイオリニスト、ビオンディのソロリサイタル。令和2年に2枚組のCDが発売され、絶賛されている「バッハ無伴奏全曲」を1日昼夜2公演(14時/19時)に分けて演奏する。2公演セット券を主に販売するが、1公演ごとの独立券も併せて販売する。

【共催事業】[4事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
<b>音楽堂ヘリテージ・コンサート</b> ※上記、主催事業と合わせてシリーズの一環としてセット券発売、広報などを実施する			
令和5年 9月24日(日)	音楽堂	イ・ムジチの四季	令和3年に、完売近くまでの好評を得つつコロナ禍により来日中止となった、イ・ムジチの70周年記念プログラム。 [主催：神奈川芸術協会]
10月28日(土)		ジョルディ・サヴァール&エスペリオン XXI	映画「めぐりあう朝」で世界に古楽ブームを巻き起こした、スペインの至宝と言われるヴィオラ・ダ・ガンバ奏者と、彼が設立し半世紀にわたり古楽界を牽引してきたアンサンブルの音楽堂初公演。スペイン大使館後援。 [主催：オフィス山根]

ホリデー・アフタヌーン・コンサート			
令和5年 4月15日(土) 5月6日(土) 6月4日(日) 7月17日(月祝) 9月9日(土) 10月7日(土) 11月4日(土) 12月3日(日) 令和6年 1月13日(土) 3月10日(日)	音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤春馬 (Vc)</li> <li>・福川伸陽 (Hrn)</li> <li>・大西宇宙 (Br) &amp; 中江早季 (Sop)</li> <li>・毛利文香 (Vn)</li> <li>・石田組 (弦楽アンサンブル)</li> <li>・牛牛 (Pf)</li> <li>・児玉姉妹2台ピアノ「春の祭典」</li> <li>・田原綾子 (Va) &amp; 實川風 (Pf)</li> <li>・郷古廉 (Vn) &amp; 北村朋幹 (Pf)</li> <li>・ほか出演者調整中</li> </ul>	神奈川芸術協会による休日のアフタヌーンコンサートシリーズ [主催：神奈川芸術協会]
通年	音楽堂	その他共催	共催公演として招聘し、県民に鑑賞機会を提供するもののほか、音楽堂おかあさんコーラス等、例年行われる県民による公演の共催等。

### ■ミッション「つねに考える」[1事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
適宜各公演前に実施 通年2～3回 (調整中)	音楽堂	街なかトークカフェ @音楽堂	音楽堂ヘリテージ・コンサートや音楽堂室内オペラ・プロジェクトに先立つ関連企画として、プログラムの背景や意義、聴きどころなどを、講師を中心に共有する。 野毛や黄金町、紅葉ヶ丘地域等音楽堂周辺に協力を仰ぎ、参加者に街の魅力と文化の奥行きを同時に味わってもらおう。(コロナ禍に鑑み、当面は音楽堂ホワイエでの開催、オンライン開催等を含め調整する)。

■ミッション「未来につなぐ」[5事業]

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
令和5年 7月29日(土)	音楽堂	子どもと大人の音楽堂 ＜子ども編＞ せかいはともだち！	令和4年度に引き続き、音楽堂全館を使って、コンサートやホワイエイベント、建築見学、ワークショップなどマルチな体験をする親子イベント。 社会連携ポータル部門と協働し、特に多文化共生に重点をおきながら、障がい者などを包括するインクルーシブの視点を取り入れ開催する。
令和6年 3月2日(土)		子どもと大人の音楽堂 ＜大人編＞ 音楽堂のピクニック	ファミリー層はもちろん、20・30・40代を中心に全世代にわたり「大人の休日」をテーマに音楽堂全館で音楽、トーク、ピクニック、建築見学などマルチな体験をするマルチカルチャーイベント。
令和5年 12月10日(日)	音楽堂	第57回音楽堂クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」全曲演奏会	伝統の神奈川県民参加合唱団と神奈川県フィルハーモニー管弦楽団による公演。令和4年から指揮者に大塚直哉を迎え、刷新されたイメージで行う2年目。高校生による「未来プロジェクト」も継続する。
通年	調整中	音楽堂アウトリーチ ＜社会連携ポータル事業＞	社会連携ポータル部門と協働して、主に小学校の教員を対象に、県内各地でアーティストを派遣し、モデル授業、ディスカッションや、教員自身が生徒役となって体験ワークショップを行うスタイルにより、音楽の授業計画や始動方法、教材、題材研究に役立てる「先生のためのアウトリーチ」を年間5～6回実施する。
通年	音楽堂	音楽堂人材育成事業 ＜社会連携ポータル事業＞	音楽堂主催事業を題材にこれからの劇場運営・公演制作を担っていくスタッフの養成を目指して、現場実習を中心に研修を行うインターンシップ等に、社会連携ポータル部門と協働して取り組む。

開催予定日	会場名	公演名(予定)	内容
令和5年 ①5月27日(土) ②7月8日(土) 令和6年 ③2月10日(土)	音楽堂	子どものための公開リ ハーサル	共催する神奈川フィルハーモニー管 弦楽団の音楽堂定期演奏会等の開催に あわせ、同オーケストラとの連携によ り、音楽堂主催で公開リハーサルを実 施し、子どもや青少年への音楽体験の 提供を行う。

## 2 施設運営・利用者サービス

「安全・快適な利用環境を守るーその先の安心へ」を施設運営・利用者サービスにおける重要な課題とし、「あらゆる人々に開かれた場」とあるという視点でハード面・ソフト面を改善していくことによって来館者も利用者も安心して過ごすことができる施設をつくる。

3館は共通して、各館の運営に関する専門的知識の共有や、社会連携ポータル部門との連携により、高いレベルを標準化していく。

新型コロナウイルス感染症拡大防止については、引き続き適切な感染症拡大予防策を講じていく。

管理運営に当たっては、ウィズ・コロナ、アフター・コロナ時代に対応した新たな管理運営に取り組み、県の公立文化施設として相応しい良好な空調管理、保守管理の実施、そして清潔で快適な環境を常に提供することで、県民が安心して訪れることのできる施設環境を創出する。また、利用者サービスの向上に持続的に取り組み、高いホール利用率を回復させる。

### <施設維持管理における共通目標>

3館では、施設維持管理においても4つのミッションに基づき、以下に取り組む。

#### **創造に挑む**

県民の多くの方々が、芸術文化に触れ、また、芸術活動を行うことができるよう、鑑賞・創造環境の整備やその活動を支援する。

#### **感動を分かち合う**

自宅でも職場・学校でもない場所であり、常に身近にある「あらゆる人々に開かれた場所」としての文化施設の機能を創る。

#### **つねに考える**

アンケートや利用者の方々からの御意見、内部及び外部からの評価・検証を、会議等で議論し、共有を重ね、文化施設の果たす役割、効果などを常に考察し、次のアクションへ生かす。

県立の文化施設としてインクルーシブ社会の実現やSDGs等の社会課題の認識や課題の解決にも取り組む。

#### **未来につなぐ**

地域の拠点の文化施設として、社会連携ポータル部門と連携し、インターンシップ受入れ、県内文化施設職員向け研修会の実施などにより社会と芸術文化をつなぐ担い手を育成する。

適切な施設保全、高い利用率の保持、多様なラインアップの提供によって、世代を越えて、県民の方々に長く愛される施設づくりに取り組む。

## (1) 県民ホール

### ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

首都圏有数の客席数を持つ大型文化施設として、どのような催しにも対応できるよう、また、年齢、性別、国籍、障がいなどにかかわらず、あらゆる人々が芸術文化に親しみ、様々な芸術文化活動に携われる、魅力的で快適な場となるよう、安定したサービスと技術的サポートを提供する。

大ホールではポップス、演歌、乳幼児向け公演、小ホール・ギャラリーでは県民の文化活動の発表の場として各種コンクール、ピアノ・合唱発表会、絵画・写真展覧会などジャンルを限定せず幅広く利用に供する。また、吹奏楽コンクール、神奈川県美術展をはじめとした美術展など、幅広い年齢層の県民の文化活動発表の場として提供する。

大ホールの規模の大きさと舞台機構を国内外の利用者・関係芸術団体に周知し、県民の鑑賞ニーズの高い公演、海外の一流オペラやバレエ公演、全国規模の学会等への誘致に努め、特例利用制度等を活用して利用促進を図る。

自主事業と貸館事業の適切なバランスを図り、新型コロナウイルス感染症拡大前の稼働率に回復させることで、利用料収入の確保を目指す。

神奈川県内文化施設の施設利用担当者を対象とする、専門性の高い人材育成講座を実施し、県内文化施設全体のレベルアップ、県民利用のサービス向上に寄与する。

周辺施設の需要の変化に対応しながら、日々多くの県民が集う活気あるホール環境を維持する。

窓口案内、会場案内、舞台技術、警備、中央監視、清掃等の各委託会社及びレストラン・喫茶と協力し、快適な劇場空間の維持と利用者サービスの向上に努める。

県と連携をとりながら、老朽化した施設の適切な維持管理を行うとともに、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化など、県民サービスの観点から時代に即した施設整備を行っていく。

施設老朽化に伴う今後の県民ホールのあり方検討については神奈川県に対して積極的に協力を続けていく。

抽選会後の空き日は地元イベントなど等に対し、積極的に営業活動を行い利用の促進を図る。

先着順となっている会議室の利用申し込みについては、公平性を担保しつつ利用者の利便を考え、時代に合った申し込み方法を検討していく。

法令を遵守し、全ての利用者に公平公正で安全第一かつ安心感を提供できる運営を行う。

### イ 県民ホールの施設を活用する事業 収2

公益目的の利用（音楽・舞踊公演、展覧会など）が見込まれない場合は、学会等、講演会、研修会、式典などの利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。

### ウ 駐車場の運営 収1

駐車場の運営を的確に実施し、収入確保を目指す。

## (2) 芸術劇場

### ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

開館から12年がたち、ミュージカルのロングラン公演の会場として、多彩な演劇公演が上演される劇場として横浜に定着してきた。認知度の向上とともに比較的長期の利用が安定的に入るようになってきていることから、引き続き専門劇場として運営・技術サービスを安定的に提供していく。

会場案内、舞台技術、警備等の各委託会社と協力し、館全体で、劇場の安全と危機管理体制を整え、快適な劇場空間の維持と利用者サービスの向上に努める。

電子部品等の更新時期を迎えていることから、県と連携をとりながら適切な更新工事等を実施していく。

外国人・障がい者等の来館者対応として、鑑賞サポートの充実、ホームページの改善、職員研修などを順次計画的にハードとソフトの両面から進めていく。

ホール特定貸館として、以下の公演を実施する。

開催予定日	会場	公演名(予定)	内容
令和5年 4月25日(火) ～7月22日(土)	ホール	劇団四季ミュージカル 「クレイジー・フォー ー・ユー」 (全82回公演予定)	神奈川県に拠点を置く劇団四季は、平成29年「オペラ座の怪人」、平成30年「ノートルダムの鐘」、令和元年「パリのアメリカ人」、令和2年「マンマ・ミーア!」、令和4年「ノートルダムの鐘」とこれまで5演目のロングラン貸館公演を実施し、延べ48万人を動員してきた。令和5年は、劇団四季の代表的なレパートリー作品を上演し、引き続き県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。 主催：神奈川県、横浜市、(公財) 神奈川芸術文化財団、四季株式会社

### イ 芸術劇場の施設を活用する事業 収2

公益目的の利用（演劇・舞踊公演など）が見込まれない場合は、学術会議あるいは講演会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当するが、現状では稼働率も高く、ほとんど利用実績はない。

### ウ 駐車場の運営 収1

駐車場の運営を的確に実施し、収入確保を目指す。

### (3) 音楽堂

#### ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

令和3年8月に音楽堂は、併設する県立図書館・前川國男館と共に、神奈川県指定重要文化財（建造物）に指定され、日本でも最も歴史ある公共音楽専門ホールとしての存在価値を世の中に周知することができた。建物の価値が向上したことにより、定期的に行っている前川建築見学ツアーが人気度を上げていること等から、建造物としての価値とコンサートホール（音楽）としての価値をさらに向上させていくことを基本方針とし、安全・安心な施設維持管理、魅力ある事業実施や人材育成に取り組む。

利用対応については、利用者が安心感を持って利用できるよう親切丁寧な対応、社会情勢等に応じて変化していくコロナ禍対応も安全・安心に利用いただけるように周知を行い、利用者・来館者の満足度向上を図る。

来年開館70年目を迎え、老朽化が顕著な施設及び設備維持管理については、定期点検・保守を継続して行い、事故や危険の未然防止を徹底させ、経年劣化に対する県有財産の価値保全のための適切な管理に取り組む。引き続き設置者と相談、調整の上、長期修繕計画を実行していく。

建築見学ツアーについては、引き続きボランティアグループbridgeと連携し定期的に行う。昨年度トライアルで開始した障がい者を対象とした見学ツアーを引き続き継続し、ブラッシュアップを図る。

令和4年秋に県立図書館の新棟が竣工し、また青少年センター紅葉坂ホールは現在改修工事中で令和5年秋にリニューアルオープンする。令和6年3月には紅葉ヶ丘広場活性化事業が計画されており、引き続き適切な対応・連携に取り組む。

紅葉ヶ丘地区の活性化のため、県立図書館、青少年センター、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーとの5館連携事業「まいらん」を引き続き促進させる。

#### イ 音楽堂の施設を活用する事業 収2

公益目的の利用（音楽公演等）が見込まれない場合は、講演会や研修会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。

### 3 本部事業、その他事業

#### (1) 社会連携ポータル部門 公1

##### ア 社会連携ポータル事業（3館共通事業）

①専門人材育成プログラム、②学校教育へのアプローチ（エデュケーションアプローチ）  
③あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ、④地域との連携を強化する機能（地域ネットワークプログラム）の4つの柱を中心に、3館の特性を生かしながら、社会と芸術をつなぐ窓口としての機能していく事業を展開していく。

#### ■ミッション「感動を分かち合う」

##### ○多くの方々と感動を分かち合うための「インクルーシブアプローチ」

開催予定日	会場	企画名(予定)	内容
通年	県民ホール 芸術劇場 音楽堂 県内施設	鑑賞サポート	障がいやさまざまな要因により文化芸術の鑑賞・参加に障壁がある方々が舞台芸術や美術を楽しむためのサポートを行うインクルーシブアプローチ。聴覚障がいの方に向けた文字による情報保障、視覚障がいの方に向けた音声や点字、やさしい日本語の活用などの情報保障面での鑑賞サポートや、児童、生徒に向けたさまざまな形での鑑賞サポートも実施していく。3館において4～5公演を対象とする。特に、県民ホールの「オープンシアター」、芸術劇場の「フレンドシッププログラム」、音楽堂の「子どもと大人の音楽堂」は、館を地域に開く事業の趣旨から、重点的に取り組む。

##### ○多くの方々と芸術文化でつながる「地域との連携」

開催予定日	会場	企画名(予定)	内容
通年	県内施設	県内巡回公演	県民ホール、芸術劇場が制作した公演を県内の文化施設で実施する。地域の文化施設とのネットワークを強化し、県内の多くの方に公演を鑑賞してもらうことをめざす。鑑賞サポートへの取組みの紹介なども同時に行っていく。

■ミッション「未来につなぐ」

○芸術文化を担う人材を育てる「専門人材育成プログラム」

開催予定日	会場	企画名(予定)	内容
調整中	県民ホール 音楽堂 芸術劇場	インターンシップ	県民ホール・芸術劇場・音楽堂において、各館の特性をいかしたプログラムにより、就業体験の場を提供し、これからの舞台芸術を担う人材を育成することをめざす。
調整中	県民ホール 芸術劇場	人材育成講座	すでに舞台芸術や文化施設運営業務についている人向けに、ブラッシュアップのための講座を開催。県民ホールは、劇場運営従事者のための、芸術劇場は、舞台技術の講座を実施する。
調整中	県民ホール 芸術劇場	大学連携事業	大学や研究者と文化施設が協働し、それぞれの館が大学と立案したテーマに取り組む。
通年	芸術劇場	リラクスパフォーマンスを考える	令和5年度から3年計画でリラクスパフォーマンス（またはインクルーシブシアターともいう）の作品制作を目標とし、その一年目として、研究、アーティストと協働するための準備を行う場を設け、創作のあり方を検討する。

○子どもたちと芸術文化をつなぐ「学校教育へのアプローチ」

開催予定日	会場	企画名(予定)	内容
調整中	芸術劇場 音楽堂	学校教育へのアプローチ	芸術劇場は、県立高校の舞台芸術専門科の教育課程である実務研修や視察等を実施する。 音楽堂は、県内の主に小学校の教員を対象とし、教科指導に役立つアウトリーチプログラムを実施する。

## ■その他ミッションを達成するための取組

開催予定日	会場	企画名(予定)	内容
年1回	調整中	芸術と社会をつなぐ機能についての調査・研究	芸術と社会をつなぐ窓口としての社会連携ポータル事業が継続性をもってその役割を果たすために、今、そしてこれからの事業の在り方について研究、考察するための調査・研究事業。有識者による講座、またはシンポジウムを年間1回実施。

## イ 共生共創事業（県からの受託事業）

事業名(予定)	内容
共生共創事業	<p>県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」などの取組とマグネット・カルチャー（マグカル）をクロスさせた舞台芸術関連の事業。</p> <p>県域の文化振興に関するネットワークの形成についても、本事業に関連して進めていく。（平成30年度から開始の事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア劇団3箇所 通年実施（横須賀、綾瀬、小田原）</li> <li>・シニアダンスワークショップ1箇所 通年実施（横浜を主体に県内各地）</li> <li>・インクルーシブ事業（4件程度）</li> <li>・その他広報業務等</li> </ul> <p>※神奈川県の実業説明文</p> <p>事業理念</p> <p>神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野においても、「ともに生きる ともに創る」を目標に、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施しています。</p>

## （2）県域の芸術文化財団への業務協力 公1

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団は令和4年度から鎌倉市より鎌倉芸術館の指定管理者の指定を受けるに当たり、当財団に対して業務協力の依頼を行った。

県域で活動する財団との業務協力は県域における芸術文化の振興の一助となることから、鎌倉芸術館の運営に関する業務協力を行っていく。

- ・相手先：公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
- ・内容：鎌倉芸術館の管理運営協力
- ・方法：管理運営における人員出向等の協力及び主催公演における企画制作作品の提供等
- ・期間：令和4年4月1日から5年を1期として最大2期までを予定

### (3) 芸術文化に関する情報の収集提供 公1

当財団の主催事業のみならず、広く県内外で実施された芸術文化や文化施設の取組等を紹介することで、県民に芸術文化への理解をより深めて親しみを感じてもらおう情報誌として「神奈川芸術プレス」を年2回（9月、3月（予定））発行する。

公演・催物に関わるだけでなく、文化と社会の架け橋になるような特集テーマを設定し、人材育成・インクルーシブ関連の取組など様々な観点から、紙の冊子ならではの読み応えのある記事を掲載していく。また、ウェブ版も作成し、読者の拡大に努める。

### (4) かながわメンバーズの運営 公1

会費無料のインターネット会員制度「かながわメンバーズ(愛称KAme:カメ)」を運営し、会員のニーズに合わせて形態や配信時間を模索し、メールマガジンの発行による公演案内やチケット発売情報の提供、先行予約の実施などのサービスを行う。

また、会員情報を適切に管理し、情報の安全性を確保し、効率的な運営を行う。

### (5) チケットかながわの運営及び団体販売等の促進 公1

主催事業の票券管理補助やチケット販売、また、共催・提携・貸館公演のチケット販売受託を行うため、チケットセンター「チケットかながわ」を運営する。チケット購入者におけるインターネット予約システムの利用者が高い状況を受けて、チケット予約システムにおける案内及びチケットかながわのホームページの内容を継続的に分かりやすいもの改善するとともに、高齢者などインターネットでの購入を望まない利用者に対しては電話・窓口で丁寧な対応を行うなど、利用者それぞれの状況を理解し寄り添ったサービスを提供し、利用者満足度を向上させる。

また、令和4年度に試行を開始した電子チケットについては対象公演を順次拡大し、利用者満足度の高いチケットセンターを運営していく。

チケットの団体販売については、各種団体等への斡旋販売、福利厚生会員組織向けのインターネットを活用した販売を継続する。

### (6) 資金調達活動 公1

#### ア 文化庁等からの補助金・助成金の確保

文化事業、広報活動及び人材育成等の充実を図るため、文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」等の補助金、一般財団法人地域創造をはじめとした民間の助成財団等からの助成金の確保に積極的に努める。また、独立行政法人日本芸術文化振興会の調査・意見交換等を通して、文化事業の水準向上に繋げるとともに、同様に助成を受けている他劇場や関係機関等との連携を強化し、制度に関する情報収集を行っていく。

## イ 賛助会員制度（寄付金）の運営

コロナ禍により特に法人賛助会員の獲得は厳しい状況にあるが、現会員に継続いただくとともに、新規の会員獲得のため、法人、個人への働きかけも積極的に行う。

来館者、一般の方々の賛助会員制度への認知・理解を深めるため、主催公演における募集チラシの折り込みやWebサイトの充実等の方策を実施する。

オンラインでクレジットカードにより効率的に寄付できるサービスを促進し、3館施設の寄付の窓口を設定することで寄付の使途をより明確にし、寄付者数の拡大を図る。

## ウ その他企業協賛金の獲得

賛助会員制度やオンライン小口寄付のほか、特定の公演や事業に対して支援をいただく個別協賛金や、法人としての定期的なチケット購入、神奈川芸術プレスへの広告出稿等、幅広い支援をいただけるよう、法人、個人に働きかける。

## （7）管理組合の運営業務受託 収2

芸術劇場及び日本放送協会横浜放送会館合同施設全体の防災管理業務並びに共用部の敷地・建物の清掃、保全、保守、修繕、植栽、じん芥処理及び消毒業務等の施設維持管理業務を受託する。

合同施設アトリウム・レストラン・カフェの利用調整業務を行う。

## （8）法人本部の運営

### ア 法人本部の運営 法人

理事会・評議員会等の運営、職員の資質向上のための研修の実施、事業評価の実施、その他公益法人の運営に関すること（総務、人事、会計、県との調整等）を行う。特に昨今重要視されている個人情報保護やコンプライアンスに係る従事者への啓もうをより積極的に行い、3年目となる第4期指定管理業務を、引き続き効果的、効率的に進めていく。

### イ 寄付講座の実施 公1

財団本部の事業として、昭和音楽大学の授業「芸術文化と社会／芸術運営論」に出講（寄付講座として受託）し、当財団職員が劇場運営や事業等について分担して講義を行う。（計2コマを予定）